



平成 21 年 7 月 23 日

<歯周病治療による酸化ストレスの減少>

<概要> 我々は、歯周病の悪化と共に血液中の酸化ストレスが増加することを以前の論文に示しました。今回、歯周病患者の治療を行うことで血液中の酸化ストレスが減少するかどうかを検証しました。研究の内容としては、歯周病患者に非外科的な歯周治療を行い、治療前と1・2ヶ月後に検査をしました。その結果、歯周治療を行うことで、歯周病の改善と共に血液中の酸化ストレスが有意に減少することが分かりました。さらに、歯周病の治療効果が高い人程、血液の酸化ストレスの減少幅も大きくなりました。酸化ストレスの増加は、様々な疾患の進行に関わると指摘されています。本研究の結果は、歯周病の治療が、酸化ストレスの減少を介して、**全身的な疾患の予防**に繋がる可能性を示唆しています。

- ・ 歯周病の治療を行うことが、血液中の酸化ストレスの減少を介して、全身的な疾患の予防に繋がる可能性を示しました。
- ・ 酸化ストレスの測定は、指先から数滴の血液を採取することで行いました（図1）。
- ・ 治療前における歯周病患者の血液中の酸化ストレスは、歯周病のない人より高い値でした。
- ・ 歯周病治療を行うことで、歯周病の検査値が改善しました。
- ・ 歯周病患者の血液中の酸化ストレスも、歯周病治療前に比べて1ヵ月後は全員が減少し、2ヵ月後はさらに減少しました。
- ・ さらに、歯周病の炎症を示す出血部位の改善率が高い患者ほど、酸化ストレスの減少量も大きい結果が認められました（図2）。
- ・ この研究はアメリカ歯周病学会専門誌：Journal of Periodontology June 2009, Vol. 80, No. 6 に掲載。

指先から数滴の血液採取



血漿の分離



血漿と試薬を混ぜて酸化ストレス測定



図1

※酸化ストレスについて「酸化反応により引き起こされる、生体にとって有害な作用」のことです。

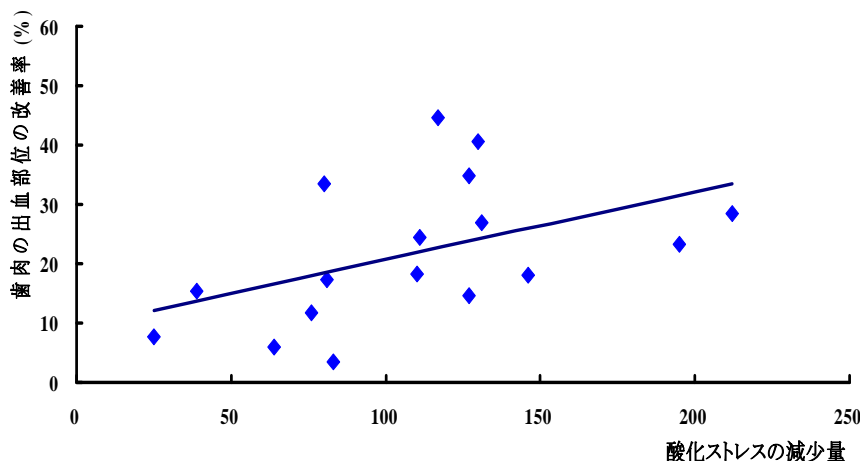


図2

<お問い合わせ>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

予防歯科学分野・玉木 直文

(電話番号) 086-235-6712

(FAX 番号) 086-235-6714

(E-mail) tama@md.okayama-u.ac.jp